

加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

市内11小学校区で開催しましたタウンミーティングでは、共通テーマとして「ごみ処理の広域化」と小学校区ごとに地域選択テーマを選んでいただいた2部構成で、自治会運営を担われているみなさまを中心に参加していただきました。会場でお聴きした提案や意見をお知らせします。

今回、頂戴しましたご意見ご提案を、今後の市政に可能な限り反映させてまいります。

校区名	開催日時・場所	参加者数
下里小学校区	10月31日(木) 19:00 ~ 21:00 善防公民館	38名
ごみ処理広域化についての質問		
No	意見概要	市の回答など
1	資料の内容について、1点目1ページ1番の1には「焼却施設の維持補修費が年間6~7千万必要」と書いてあるのに、2の削減効果には1億3千300万、とあるのはなぜか。 2点目2ページの5番、個人事業者のゴミは加西市で中継するとあるが、この費用は効果額にマイナスで入っているのか。 3点目3ページ8番で、今3ブロックで行っている収集を8ブロックに変更して、それだけの業者が集まるのか？	1点目の維持補修費ですが、現行の補修費に年間6~7千万かかっており、1億3千300万は今後、焼却施設を改修した場合にいうことで比較した表です。今後2億円かけて改修した場合、15年の耐用年数で割ると1年あたり、1億3千300万円という数字になります。これは、今後かかるであろう費用の比較です。 2点目の中継方式の増加する費用ですが、この費用については、効果額に含んでいます。 3点目のブロック変更ですが、これも費用については、効果額に加味している。具体的には増加項目の「遠距離、委託の細分化による増3千900万円」がそれです。 そして、ブロック変更による業者数ですが、今現在の収集許可業者数は17社あり、その中で8社となるわけですから、可能と考えています。

加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

2	<p>クリーンセンターは廃炉と言われていたが、廃炉にする場合の費用は、ここには含まれてないのか？ 又どのような形・方法で工事されるのか？</p>	<p>焼却炉は一旦停止という形になります。建物自体の解体は近々には実施しません。受入ピット等は、中継方式の中継場所等として再利用していく予定です。廃炉ということについては、すぐには解体しないで、有害な物質等が出ない事等を調査しながら、防止策を講じて、しばらくの間はそのまま置いておきます。</p>
3	<p>置いておくにしても維持管理費がかかると思うが、それは年間どれくらい必要か。</p>	<p>周辺に影響が出ないようにする補修工事は考えています。できれば今年度の予算で対応したいと考えています。</p>
4	<p>6番・7番の剪定枝・小型家電のリサイクルですが、どういう事を考えているのか示していただきたいのと、経済効果・環境改善効果を示していただきたい。</p>	<p>小型家電については、資料4ページを確認ください。 この経済効果ですが、貴重な金属資源ですので有価物として回収して売却していくということで、量的なものは、まだ把握できていません。4月以降で量的なものを想定しつつ、経済効果をお示しできればと考えています。 環境への効果ですが、従前は小型家電は破碎し、燃やせる部分は焼却処分を行っておりましたが、これからは、燃やさないので、排出ガスは出てこないということで、環境に配慮したリサイクルになると考えています。 剪定枝についても以前までは燃やしていたが、再資源化とすることでリサイクルを行うので、環境には一定の効果があると考えています。</p>

加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

5	<p>経済効果・環境改善効果を計量的(数値的)に示せないか</p>	<p>数値的にはまだ掴んでいません。4月以降にならないと具体的な数字は示せません。</p>
6	<p>年間維持費が6千万円程度要るのだが、今後大規模改修に20億要るとある。人口5万人以下のために国の補助を受けられないとあるが、国はいつこれを決めたのか？ 猶予期間があったのではないのか？ 地元(賀茂地区)とは話がついているのか？ 西脇市も4万人であるが、西脇市はどう考えているのか？ 小野の焼却施設は新品なのか、何年くらい使っているのか？ ゴミが小野市へ集中して、焼却炉が足らなくなる可能性はないのか？</p>	<p>補助制度であります。平成10年に「ゴミ処理の広域化」と言うことで国・県が方針を決めた。その中で広域連携が触れられているので、その当時から補助金については、広域化の方へ移行していくという仕組みはできていたのではないかと思います。 小野クリーンセンターの内容ですが、小野市の焼却炉は今3炉あります。30トン炉が2基、50トン炉が1基です。30トンの炉については平成元年に稼働、平成13年に大規模改修を行っています。50トン炉については平成10年から稼働しています。合計で110トンのゴミを処理できます。小野加東・加西のゴミを合わせても十分処理できる施設です。 西脇市の件ですが、北播4市1町で、しかるべき時期に広域化しようという話は市長レベルでは合意に至っているもので、近々の内に何らかの形で皆様にお示しできると考えています。</p>
7	<p>全部小野へゴミが集中してくるということか？全部小野にもって行って、さらに小野に炉を増設していくということか？ 広域のゴミを全部集めて、焼却したら経費がいくらいるのかという試算はしているのか？</p>	<p>北播4市1町での広域化は、来年の4月以降から各自治体の担当が集まって協議を行っていく予定です。 北播4市1町でのゴミ処理施設ですが、どこに建設するかというような話は具体的には決まっています。今は小野加東と連携を行うということで、北播4市1町が小野市でゴミを焼却するというものではありません。</p>

加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

8	加西市の焼却施設はどここの会社の製品か？小野と同じか。今後の運営は一般的にどんなようになるのか？	加西の炉と小野の炉は違うメーカーです。今後の炉の運転管理は包括委託という方法が主流になっていくのではないかと考えています。
9	大規模改修の費用20億はどここの見積もりか？	20億の見積もりは、プラントメーカーからの見積もりと、加西市が委託したコンサルからの双方の見積もりです。
10	プラントメーカーはどこか	住重です。
11	効果額1億2千200万は大き過ぎる。どこかが違っているのではないかと思うが、この表でみると、小野は2億で炉を運転できて、それに対して加西では3億かかるという事だが広域化で本当にそれだけ削減できるのか。	1ページ2の削減項目に示しているように、炉の補修費・施設の運転管理に多額の費用が発生しており、これについては今後ますます増えていこうと想定しています。 特に補修(改修)については見えない部分がかかなりありますので、それなりの費用が今後必要と言うことで、今現在の試算としてはこの金額を示しています。
<p>【地域選択テーマ】</p> <p>・高齢者と生きがいと地域社会 ・加西市の産業(農業・商工業)の担い手と今後</p>		
12	農家世帯数は、平成30年ぐらいになるとどれぐらいになる予想なのか。また、市として将来を見据えて政策をしないといけないのではないか。	加西市として、平成30年頃の数値は算出していません。国の施策としては、大規模化や企業参入を促進しています。

加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

13	スポーツ21がどうなっているのか。予算がないので厳しい。	スポーツ21については教育委員会所管の為、活動している数はわかりません。ふるさと創造会議の中で、活動について協力し合う関係を作っていただきたいと思います。
14	一乗寺に行く道沿いに、のぼりを立てて欲しい。	要望として拝聴。
15	高齢者と呼ばれるのは75歳からだと思っている。我が町では、ゲートホールやグラウンドゴルフをする75歳以上がいない。その年代でシルバー人材センターに行っている人もいない。敬老会や老人会の役員をしたくない人が増えてきている。そういった現状を踏まえて、高齢者人口も見ながら高齢者施策を考えてほしい。	65歳から高齢者、75歳以上が後期高齢者という位置づけをしています。老人クラブは4月1日時点で11,753名が加入されている状況です。 今回、現状を聞かせていただきましたので、今後の高齢者施策に反映させていきたいと思っています。
16	商工業について、市内の中小企業では跡取りがいないという課題があります。しかし、後継者を支えるのではなく、新しい若者が新しい産業を作っていくという芽に対し、補助金を出す仕組みを作ってほしい。	後継者の育成と起業家への支援について、商工会議所と連携しながら仕組みづくりを作っていくしたいと思います。
17	若者支援計画が出ていると思うが。	ふるさと創造部のほうで若者に対して支援を検討しています。婚活でマスコミに取り上げられて、活動状況を知っていただけたと思います。これは、若者支援計画の一つとして実施したものです。 インターネットを活用し、出資を求めるといったような仕組みもできており、それに参加する為の支援やシェアードオフィスの仕組みも検討しております。

加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧

18	減反廃止となった場合、ダムの水は大丈夫なのか。	減反制度は昭和 45 年に導入されました。ダムの建設は、減反制度導入後に完成しております。実際、すべての農地で水稻を作付けた場合、不足するかどうかはわかりかねます。 一方、自給率の低い麦・大豆への補助は継続される予想ですので、すべての農地で水稻を作るという状況になるとは思っていません。
19	水稻以外のものを作付けしても、麦、大豆は良いものがない。適地適作があると思いますので、地域にあった計画を作ってほしい。	近隣市とともに県や国へ要望してまいります。
20	10 億円ほど基金が残ったという根拠は。	歳出については、入札等により積算額より抑えた支出になったことが一つの理由だと思います。余ってきているという認識ではありません。予算を組んでいく作業ができないという状況からは脱しつつあるという状況です。
21	市長から職員に訓示されたと聞くが、その後どうか。職員の中で、結婚を契機に市外に住むという方もいるようだが、それはどうか。 また、職員時代の市長はどう地域に関わってこられたのか。	9月議会ではふるさと創造条例について審議いただきました。施策の中でふるさと創造会議を進めることは重要項目で、地域のことを地域の中で取り組んでいける体制を作っていきたいと考えています。 私の職員時代は、非常に反省しております。当時、職員が地域やその他の行動に関わることにについて、良くないという風潮でした。自分なりにいろんなことに関わってきたつもりでしたが、集落の活動については、少し受け取られ方は違うという思いです。 職員に対しても、地域への積極的な関わりを求め、地域担当職員を任命しておりますが、他の職員も関わっていくように取り組んでいきたいと思ひます。 ふるさと創造会議を進めるために、まずは円卓会議を進めていくにあたり、地域の協力を得ながら進めていきたいと思ひます。

加西ふるさと秋ミーティング 2013 質問等一覧